

狛江市における小児期からの成人病予防のためのコホート調査

～3年経過時の居住状況～

(分担研究：小児期からの健康増進対策に関する研究)

住 友 眞 佐 美

要約：小児期からの健康的なライフスタイルのあり方を検討するために、平成3年度から狛江市で実施しているコホート研究について、対象者の居住状況の追跡確認を行った。その結果、初回調査から3年経過した時点での居住状況では、24.5%の児が狛江市外に転出していた。

見出し語：コホート調査、居住状況、追跡

【はじめに】

東京都狛江市において、生活習慣・食習慣に関するコホート調査を平成3年度に開始した。第1次調査(以下「3歳児調査」)では553名に生活状況についての調査を行ったが、474名から回答を得ている。結果の概要については報告は平成5年度に報告した。

平成8年度に追跡調査を行うにあたり、調査対象となった平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれの児(調査当時3歳)が、平成8年1月1日現在の狛江市に継続して居住しているかどうかの確認を行ったので、概況を報告する。

【調査方法】

住民基本台帳より、コホート対象者(平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれ)の、平成8年1月1日現在の住所を確認し、昨年度に同様の調査を行った時点以降の転出入について集計した。

東京都母子保健サービスセンター

(Tokyo Metropolitan Maternal and Child Health Center)

【結果】

1 居住状況

コホート対象児の居住状況は表1に示すとおりである。3歳児調査で有効回答を得た474名のうち、現在も引き続き狛江市に居住している者は358名(75.5%)であった。市外に転出した者は126名(平成7年度転出者は25名)で、転出先の住所は確認できていない。また、3歳児健診未受診者で、引き続き狛江市に居住している者は58名、3歳児健診後に転入してきた者は102名であった。

平成8年度に、小学校一年次の生活状況調査を行う予定であるが、コホートとして追跡可能

なのは、昨年の子予想程度の約350名(73.8%)になる見込みである。

2 今後の研究計画

平成8年度はコホート対象者の第2次調査(小学校1年次調査)を実施する予定であるが、学校で行われる身体検査の結果等が出そろった1学期末までに、学校を通してアンケートを配布、回収する予定である。

前述のとおり、コホートとして追跡可能なのは約350名であるが、3歳児健診未受診者、転入者についても同様の調査を実施し、新たなコホートとして解析を行う。

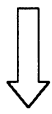
表1 生活状況調査協力者(3歳児)の平成8年1月1日の居住状況

生まれ月	3歳児調査 受診者数	平成8年1月1日現在居住している者				計	転出者 ()今年度転出者再掲
		調査受診者	調査未受診者	転入者	計		
4月	33	24	5	12	41	9(2)	
5月	44	32	2	6	40	12(1)	
6月	36	28	5	5	38	8(0)	
7月	47	36	7	8	51	11(3)	
8月	41	31	5	11	47	10(3)	
9月	36	32	3	11	46	14(1)	
10月	48	37	8	9	54	11(1)	
11月	43	34	4	10	48	9(1)	
12月	46	33	1	10	44	13(3)	
1月	42	27	6	9	42	15(5)	
2月	34	24	2	7	33	10(3)	
3月	24	20	10	4	34	4(2)	
計	474	358	58	102	518	126(25)	



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:小児期からの健康的なライフスタイルのあり方を検討するために、平成 3 年度から
狛江市で実施しているコホート研究について、対象者の居住状況の追跡確認を行った。そ
の結果、初回調査から 3 年経過した時点での居住状況では、24.5%の児が狛江市外に転出
していた。